

通信制生活体験発表会

7月9日の夜間制発表会、7月16日の昼間制発表会を紹介しましたが、9月6日には通信制の生活体験発表会が行われました。4名の代表者による発表のそれぞれ印象に残ったところを紹介します。

○自分自身への手紙です。「中学校時代にちゃんと自分のことを認めてくれた担任の先生がいた。水戸南高は登校日が楽しみ。アルバイトも始めた。もっと人に甘えなさい。もっと人を頼りなさい。自分を大切に。」

○落ち着いた生活になったら、弱い自分が顔を出し休むようになった。友達や先生の手でやってきたが、コロナウイルスで休校になった。初めて「勉強しなければ」という気持ちになった。テスト勉強で自信がつき、資格テストも1回で合格できた。

○今の学校に入学し趣味の時間もできたが不登校になり、先生の励ましで通えるようになった。ウルフルズの曲「明日があるさ」、もともとは坂本九の曲であると知った。飛行機事故で亡くなり、明日がないこともあると知った。あせらずに一步一步、たまには休む。

○全日制高校の時、テレビで通信制のことを知り、水戸南高校に入った。人と会うときの自分の焦りに気づいた。スクーリングは穏やかな時間で、近すぎず、遠すぎない人間関係がある。人を助ける余裕を持ちたいと思っていたら、それができて笑顔を返された。登校日を楽しみにしている。

